



City of Design
KOBE

United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

参考資料 3

中突堤周辺地区の再整備事業

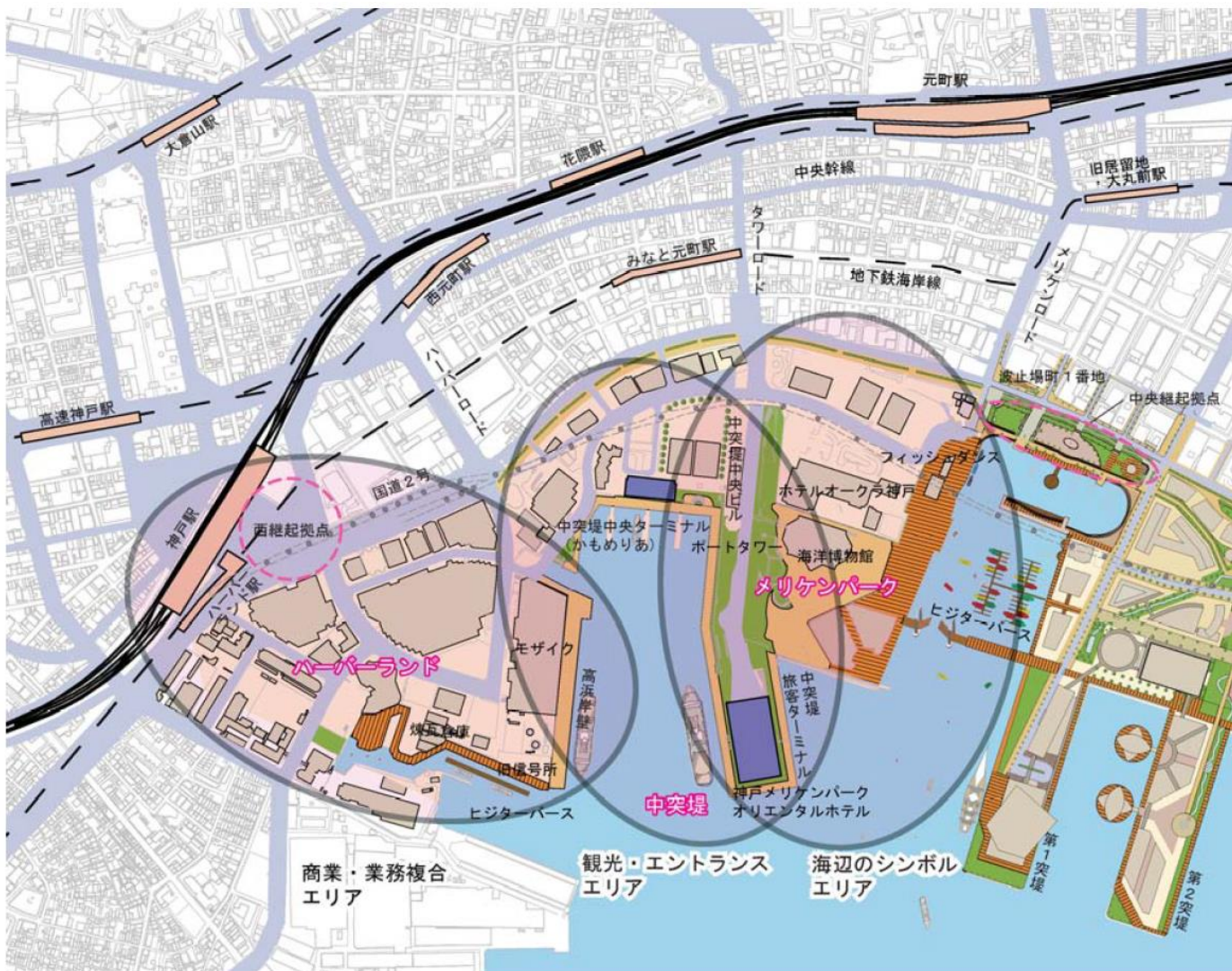
令和3年3月
神戸市港湾局



1-1.中突堤周辺地区のウォーターフロント再整備計画 ~「港都 神戸」グランドデザイン~

土地利用方針

■「港都 神戸」グランドデザイン(平成23年3月策定)



商業・業務複合エリア (ハーバーランド)

ハーバーランドは、神戸駅からの近接性やウォーターフロントの商業施設等の集客性をいかながら、商業・業務機能の拡充や居住機能などを導入した複合的なまちづくりを進めていく。

観光・エントランスエリア (中突堤)

中突堤旅客ターミナルは、新港第4突堤のポートターミナルと並んで神戸港の海の玄関口であり、エリア内に複数のホテルが立地し、遊覧船が発着するなど観光の拠点にもなっている。

観光・クルーズ機能の強化を図り、既存施設(中突堤中央ビル等)のリニューアルを行うなど魅力向上に努める。

海辺のシンボルエリア (メリケンパーク)

メリケンパークは、ポートタワーや海洋博物館など“みなと神戸”を象徴するランドマークがある。

1-2. 中突堤周辺地区のウォーターフロント再開発計画 ~神戸港将来構想~

土地利用方針

■ 神戸港将来構想(平成29年7月策定)

● 「にぎわい・都市」の目標

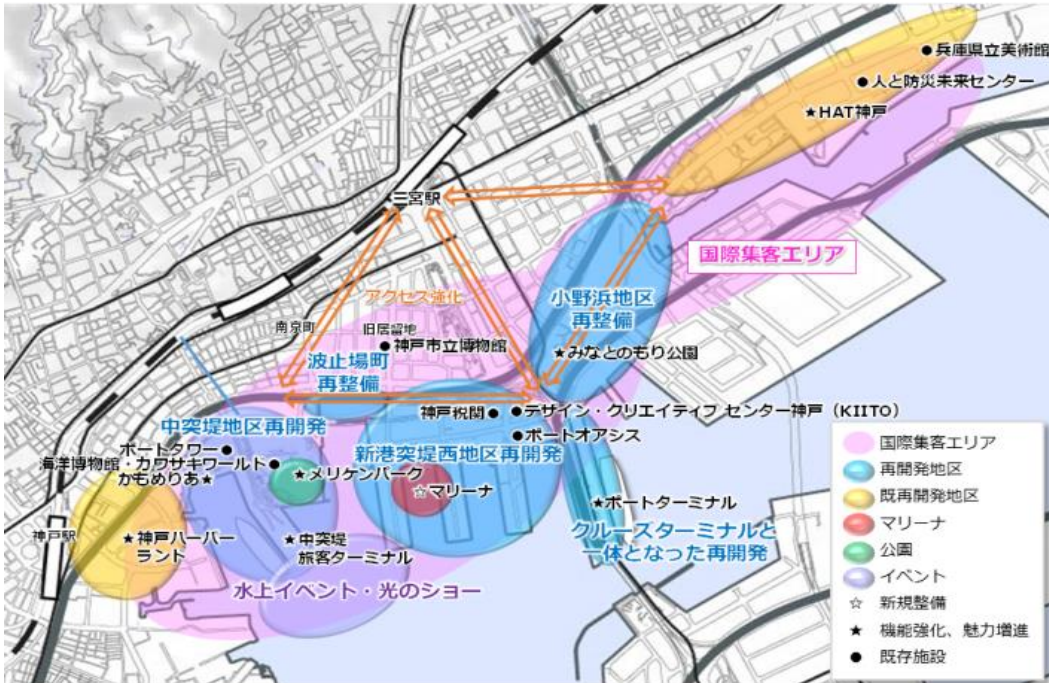
ラグジュアリーな時・場・出会いで、新たな価値を生み出すみなと
~世界を魅了するウォーターフロント構想~

上質で品格のあるラグジュアリーなまちの雰囲気を活かし、都心・三宮地域と一体的にウォーターフロントの再開発を推進し、「世界を魅了するみなとまち」となることを目指す。

コアプロジェクトⅢ 世界から人を惹きつける神戸ウォーターフロントの形成

- 大阪湾ベイエリア全体の動きを視野に入れつつ、国内のみならず世界からも人を惹きつける国際集客都市としてのさらなる成長を目指す。
- インバウンドも誘引する集客施設の立地や、戦略的な文化観光施策の展開、そして街並み景観のデザインの向上などにより、観光集客力強化と時間消費型滞在地形成を図る。
- 市民と観光客を魅了することで居住者の取り込みを図りながら、ウォーターフロントが賑わいと交流の拠点となることを目指す。

コアプロジェクトⅣ クルーズ船受入環境充実とマーケット拡大による クルーズ都市の構築



2-1.ウォーターフロント再開発の状況

1 神戸ポートタワー リニューアルイメージ

屋上展望歩廊(新設)



低層部4階屋上テラス(新設)



2 新港第1突堤基部再開発

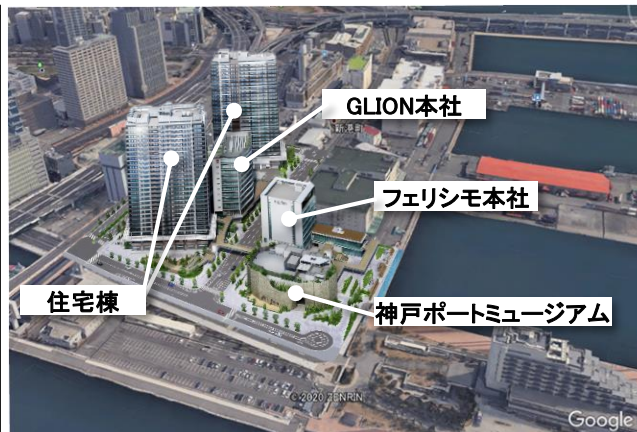
オープン予定

フェリシモ本社
: 令和3年1月

GLIONグループ本社
: 令和3年4月

神戸ポートミュージアム
: 令和3年秋

住宅棟
: 西棟 令和5年春
: 東棟 令和7年春



(整備イメージ)



神戸港将来構想

新港突堤西地区 水域活用イメージ



回遊性向上

連節バス(令和3年4月 運行開始)



税関前歩道橋(令和5年夏 完成予定)



2-2. 中突堤周辺地区の再整備の状況

中突堤中央ビルを含む中突堤周辺エリアの再整備を行い、神戸の魅力発信や訪日外国人を含め、多くの人々で賑わう交流拠点の形成を図り、観光・エントランスエリアとしての機能強化を目指す。



(参考)中突堤周辺地区の再整備に関するサウンディング型市場調査の結果

民間事業者との対話を通じて、当該事業地の市場性、利活用の可能性等を明らかにすべく、サウンディング型市場調査を令和元年実施。

初回対話の結果概要

1.参加事業者

9グループ(不動産事業者、建設関連事業者)

2.導入施設の提案

- ・体験型施設
- ・宿泊施設
- ・商業施設
- ・スポーツ関連施設 など

3.主な意見

- ・中央ビルの再整備は南館・北館一体的な開発が望ましい
- ・南館単体で開発する場合は、事業性から建て替えが望ましい など

